

こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

夢と感動を与えてくれたロンドンオリンピックも残す所あと僅かとなり、夏期長期連休も目前に迫る今日この頃であります。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

さて、平成24年度に入り早くも4ヶ月が経過いたしました。国においては「社会保障と税の一体改革」についての審議が参議院に場を移し、現在も激しい論戦が繰り広げられています。

「今増税すべきではない。」との意見をお持ちの方も多く居られると存じますが、バブル経済の崩壊以降、少子高齢化の進展に伴う各種問題の発生を予測しながら、その問題を先送りしてきた結果が、国・地方合わせて約1千兆円とも言われる莫大な借金を抱えるに至った事を鑑み、参議院においても「良識の府」としての適切な判断が成される事を期待しております。

この様に、我が国財政は非常に厳しい状況にあり、来年度においても税収入の好転は見込めない中で、各地方自治体では、来年度予算編成に向けての要請活動が早くも始まっております。

先ず県においては、これまで培ってきたモノづくり技術等により、我が国を牽引すべく必要な措置を国に要請しておりますが、私の所属しております民主党愛知県議員団では、その中身を審議・評価し、評価結果を添えて国に提出するとともに、県議団としての県への要望事項を取りまとめるべく、現在活動中であります。

また、各市町村においても、私は今年度建設委員会に属しておりますので、各建設事務所を委員会として調査しておりますが、その際には各首長からの要請も成されており、これらを踏まえ、限られた財源の中での選択と集中によって、社会基盤整備が少しでも促進されるよう努めてまいります。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 